

4年国語 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解すること。 ・事典の使い方を理解し使うこと。 ・長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使うこと。 ・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ・第4学年までに配当されている漢字の読み書きができること。 ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解すること。 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解できること。 ・左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いていること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『ごんぎつね』の学習では、物語を読んで感じたことや考えたことを仲間と共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ・『クラスみんなで決めるには』の学習では、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。 ・『未来につなぐ工芸品』『風船でうちゅうへ』の学習では、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。 ・『未来につなぐ工芸品』の学習では、段落相互の関係に着目し、考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述を基に捉えること。 ・『スワンレイクのほとりで』の学習では、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。 ・『風船でうちゅうへ』の学習では、科学読み物を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えて書くこと。 ・書写するなかで、左右の部分の組み立て方を確かめていること。 ・書写するなかで、上下・左右の部分の組み立て方を確かめていること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をいかして、すすんで話したり聞いたりし、相手の伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉えようとしていること。 ・すすんで詩や物語全体の構成や内容を意識し、学習課題に沿って音読しようとしていること。 ・登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に考えたことを話し合おうとしていること。 ・漢字の構成されていることについて理解し、これまでの学習をいかして漢字の組み立てについて考えようとしていること。 ・積極的に必要なことを工夫して記録したり質問したりして、それらをもとに発表すること。 ・漢字の読みや書きに粘り強く取り組むこと。 ・すすんで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、物語の感想を書こうとすること。 ・すすんで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考えて新聞を作ろうとすること。 ・積極的に上下・左右の部分の組み立て方を理解し、上下・左右の部分でできている漢字を書こうとしていること。

4年社会 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できること。 ・玉川兄弟らが苦心や努力を重ねて上水開削を進めていったことや、その完成により当時の生活が向上し、周辺地域が発展したことを理解できること。 ・新宿区では古くから自然環境を生かした染め物産業が盛んで、人々の協力により、その技術や技法を受け継いでいること、様々な立場の人々の取り組みにより特色のある町づくりや染め物産業の発展に努めていることを理解できること。 ・小笠原の位置、豊かな自然環境、人々の協力関係などを基に、豊かな自然環境を保護・活用しながら、観光などの産業の発展に努めていることを理解できること。 ・大田区の位置、人々が協力し、国際都市を目指したまちづくりに努めていることを理解できること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財や年中行事の意味や長く続いてきた理由を考えて表現したり、自分たちにできることを考えたりして表現できること。 ・玉川兄弟の業績と江戸の人々の願い、開削工事が進む様子、分水によって新田開発が広まっていく様子を関連付けて考え、文章などで適切に表現したり、資料を活用したり、地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて先人の働きや願いを考え、適切に表現できること。 ・新宿の地理的な位置、自然環境の条件と染め物産業に携わる人々の協力関係を関連付けて考え、文章などで表現したり根拠を示して話し合い、自分たちの住む地域と比較して、染め物の盛んな新宿区の特色を考え、文章で記述したり、説明したりできること。 ・国際化が進んでいる大田区の様子から学習課題を見付け、外国人旅行者や在住外国人の増加と大田区の人々の活動やまちづくりとの関連を考え、文章で表現したり、話し合ったりできること。 ・人々の活動や地域の特色などについて考えを表現したり、根拠や例を示して話し合ったりして、地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながら、その特色を考え、文章で記述したり、説明したりできること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財や年中行事を継承していくために、自分たちにできることを考えようとしていること。 ・玉川兄弟の働きと、玉川上水のその後の様子などを基に、現代の地域の人々の生活を関連付け、これからの地域社会の発展について考えようとしていること。 ・東京都の特色ある地域の様子を知り、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しそのよさを東京都民の一員として考えようとしていること。

4年算数 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則の混合した式や（ ）を用いた式の計算の順序を理解し、計算の仕方を工夫できること。 ・垂直や平行の関係を活用して平行四辺形やひし形、台形の特徴を理解できること。 ・分数の意味や帯分数や仮分数の表し方を理解し、分数のたし算やひき算の計算ができること。 ・伴って変わる二つの数量の関係を、表を用いて調べ、□や○などを用いて式に表せること。 ・面積に関する単位について理解し、計算によって正方形や長方形の面積を求められること。 ・小数×整数、小数÷整数、整数÷整数の計算の仕方を理解し、筆算を用いて計算できること。 ・直方体や立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係平面状や空間にあるものの位置の表し方を理解し、平面図や見取り図をかくこと。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則の混合した式や（ ）を用いた式の表し方に着目し、問題場面について考え説明できること。 ・辺の位置関係などに着目して、四角形の性質や四角形と対角線の特徴について説明できること。 ・分母の異なる同じ大きさの分数の表し方や分数の数のたし算やひき算の計算方法を説明できること。 ・伴って変わる二つの数量の関係を表や式を用いて、変化や対応の特徴を説明できること。 ・辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明できること。 ・小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で答え（積や商）が小数になる場合の計算の仕方や、小数倍の意味について説明できること。 ・直方体を基に直線や平面の垂直と平行の関係、ものの位置の表し方を考え説明できること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（ ）を用いて1つの式に表すことのできるよさに気づき、今後の学習に活用しようとする事。 ・図形の性質を考えた過程を振り返り、「垂直や平行」「対角線」という新しい視点で見直すよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・分数で表すことや分数でもたし算やひき算ができるよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・二つの数量の関係を表で調べるよさや、関係を□や○などを用いて式に簡潔に表せるよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・面積を数値化して表すことや、計算によって面積を求めるよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で答え（積や商）が小数になる場合の計算を粘り強く練習していること。 ・立体図形について、面、辺、頂点や並び方や交わり方にどのように着目して直方体の特徴について考えたかを振り返り、平面や空間にある点の位置を表せるよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。

4年理科 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じ込めた空気をおすと、体積は小さくなるが、おし返す力は大きくなることを理解できること。 ・閉じ込めた空気はおし縮められるが、水はおし縮められないことを理解できること。 ・金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解できること。 ・星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解できること。 ・水は、温度によって水蒸気や氷に変わることで、また、水が氷になると体積が増えることを理解できること。 ・動物の活動や成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解できること。 ・単元の内容について調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録できること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して、これまでに学習したことや生活経験を基に、予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決すること。 ・空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係・金属、水及び空気の体積と温度との関係・金属、水及び空気の温まり方・温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決すること。 ・身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決すること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしていること。 ・金属、水及び空気の体積と温度との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。 ・金属、水及び空気の温まり方について粘り強く自分の考えを導き、友達と関わり合いながら問題解決をすること。 ・月や星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。 ・身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。 ・身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしていること。 ・温度を変化させたときの水の体積や状態の変化についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。 ・温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしていること。

4年音楽 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『プパポ』や『とんび』『もみじ』などの曲想と拍やその流れ、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付けること。 ・呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けていること。 ・『もみじ』の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いていること。 ・リコーダーなどの楽器を、音色や響きに気を付けて、演奏することができること。 ・リコーダーなどの楽器で、お互いの楽器の音や伴奏を聴きながら、音を合わせて演奏できること。 ・リコーダーの演奏で、サミングの技能を身に付け、音色や響きに気を付けて演奏できること。 ・発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けられること。 ・さまざまな音階の特徴についてそれらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いていること。 ・設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けていること。 ・『ノルウェー舞曲 第2番』などの鑑賞曲の雰囲気味わい、曲の変化を感じ取りながら、旋律との関わりについて気付けること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『もみじ』などの歌唱において、旋律や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。 ・リコーダーなどの楽器の演奏において、知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。 ・『プパポ』のフレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。 ・旋律や旋律のもととなる音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくったりするかについて思いや意図をもつこと。 ・『ノルウェー舞曲 第2番』の鑑賞曲において、旋律の変化、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律や楽器の音色、歌声のよさや楽しさを見だし、曲全体を味わって聴くこと。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞や曲想、声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・諸外国に伝わる様々な音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・曲想や各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・日本に伝わる音楽の音階をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。

4年図画工作 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいことに合わせて材料（画用紙、紙粘土、木材、ビニール素材、段ボールなど）や用具（絵の具、クレヨン・クレパス、ペン、カッター、のこぎり、げんのう、木工用接着剤など）を適切に扱うことができること。 ・前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくることができること。 ・絵や立体に表す活動を通して、形や色、組み合わせの印象を捉えることができること。 ・様々な形や色、触り心地がする材料と関わりながら、材料を組み合わせたり切ったりつないだり、形を変えたりするなどして、工夫してつくることができること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことなどの自分のイメージを基に、表したいことを見付けること。 ・絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながらどのように表すか考えること。 ・自分たちの作品や、身近な美術作品などの面白さやいろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで水彩絵の具や紙粘土を使い、いろいろな表し方を試して、絵に表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで友達の作品を鑑賞し、自分の作品をよりよく表そうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで表したいベッドの形や色を考え、げんのうやのこぎりを使って立体に表す学習活動に取り組もうとしていること。

4年体育 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『ミニサッカー』の学習において、ボールをパスしたりシュートをしたりすることができること。 ・『ハンドベースボール』の学習において、攻撃と守備を交代するゲームの仕方を理解し、打つ・捕る・全力で走るを楽しむこと。 ・『走り高跳び』の学習において、短い助走から調子よく踏み切って、高く跳ぶことができること。 ・『ハードル走』の学習において、小型ハードル走の行い方を理解し、小型ハードルを自分に合ったりリズムで走りこえること。 ・『跳び箱運動』の学習において、基本的な支持跳び越し技ができること。 ・『キャッチバレー』の学習において、ボールを手で扱い、パスなどの基本的なボール操作やボールを持たないときの動きを身に付けて、簡単なゲームをすることができること。 ・『ペース走』の学習では、一定の速さでペース走に取り組み、動きを持続する能力を高めること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『ミニサッカー』の学習において、チームで簡単な作戦を立て、楽しくゲームができること。 ・『ハンドベースボール』の学習において、ボールの打ち方を工夫したり、簡単な作戦を考えたりしながら学習に取り組むことができること。 ・『跳び箱運動』の学習において、自分の力に合った課題を持ち、動きを身に付けるための場を選ぶこと。 ・『ハードル走』の学習において、自分の能力に適した課題を見つけ、動きを身に付けるための場を選ぶこと。 ・『キャッチバレー』の学習において、規則を工夫したり、簡単な作戦を立てたりすることができること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『ミニサッカー』の学習において、勝ち負けに関わらずゲームを楽しもうとすること。 ・『ハンドベースボール』の学習において、仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けたりできること。 ・『走り高跳び』『走り幅跳び』の学習において、きまりを守り、友達と励まし合いながら練習に進んで取り組むこと。 ・『キャッチバレー』の学習において、運動にすすんで取り組み、規則を守って、仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたりすること。 ・『跳び箱運動』にすすんで取り組み、互いに励まし合って運動したり、安全に運動したりすること。